

平成25年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会

- 1 日 時 平成25年11月7日(木) 19時から21時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり10階 1002学習室
(調布市小島町2丁目33番地1)
- 3 出席者 市 民 6人
事務局 10人
調布市：仁藤文化振興課長、三井生涯学習交流推進課長
財 団：吉田常務理事、土方事務局長、神戸総務課長、徳永コミュニケーション課長兼たづくり事業課長、常廣総務課長補佐、岡野グリーンホール事業課長補佐、渡部総務課施設管理係長、高橋総務課総務係主事

4 資 料

平成25年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会(平成25年11月7日)
要望事項対応表【平成25年11月6日現在版】

《会議録》

- 1 開会
- 2 財団あいさつ 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項等

○神戸総務課長

皆さん、こんばんは。

それでは、定刻19時になりましたので、ただいまから平成25年度の第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会を開催いたします。

お手元に配付いたしました利用者懇談会の次第に沿いまして進めてまいります。

配付資料の確認をさせていただきます。お手元に、本日の利用者懇談会の次第はありますでしょうか。そして、平成25年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会要望事項等対応表です。

このほかにも机上に出席者票ということで配付させていただいております。

では、資料をご確認いただいた後に、次第に沿って進めさせていただきます。

それでは次第の2の財団挨拶として、常務理事の吉田よりご挨拶申し上げます。

○吉田常務理事

皆さん、こんばんは。本日はお忙しい中を今年度第2回目となります利用者懇談会に、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

スポーツの秋、また芸術・文化の秋と言われていますが、この調布市でもまさに今、芸術・文化の秋にふさわしい市民文化祭が行われているところです。約1か月間に渡りまして、このたづくり、またグリーンホールを舞台とし、市民の皆様が作品の展示、あるいは舞台発表と日頃の練習の成果というものを存分に発揮されて、ご披露いただいています。

私どもも、本当に調布市の芸術・文化活動のレベルの高さというものを実感しているところです。

たづくり、グリーンホールも大変利用率が高く、なかなか会場がとれないということが言われてから月日が経つわけですが、裏を返せば市民の皆様の芸術活動、あるいは生涯学習活動に非常に関心が高く、活発化しているということも言えます。また市民の皆様の芸術・文化活動への熱意というものが他の地域に比べ、非常に高いということも、また一方でいえるのではないかなと思っております。

前回の利用者懇談会におきましても、さまざまなご意見を頂戴いたしました。その都度、私どもも反省をし、また何とか解決できないかと工夫していますが、なかなか実現に至らない、あるいはしばらくお時間をいただければならないということもあり、非常に申し訳なく思っているところもございます。

財団も今年で、18年を迎えたところですが、まだまだ職員も若く、ある意味発展途上の団体ともいえます。ぜひこれからも皆様方のご支援、あるいはお力添えをいただきながら、さらに前進をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

本日は限られた時間ですが、忌憚のない意見交換を通して意義のある懇談会にできればと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○神戸総務課長

それでは、次第の3出席者紹介になります。

最初に調布市側からの出席者をご紹介します。初めに、生活文化スポーツ部文化振興課から仁藤課長です。

○仁藤文化振興課長

文化振興課長の仁藤です。よろしくお願ひいたします。

○神戸総務課長

続きまして、同じく生活文化スポーツ部生涯学習交流推進課の三井課長です。

○三井生涯学習交流推進課長

このたびの11階に事務所を構えております生涯学習交流推進課の三井です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

では、続きまして、財団からの出席者になります。始めに、改めまして常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

改めまして、吉田です。よろしくどうぞお願いいたします。

○神戸総務課長

次に、事務局長の土方です。

○土方事務局長

土方です。どうぞよろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、コミュニケーション課長兼たづくり事業課長の徳永です。

○徳永コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

徳永です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、総務課長補佐の常廣です。

○常廣総務課長補佐

常廣です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、グリーンホール事業課長補佐の岡野です。

○岡野グリーンホール事業課長補佐

岡野です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

そして、総務課施設管理係長の渡部です。

○渡部施設管理係長

渡部です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

そして、総務課総務係主事の高橋です。

○高橋総務係主事

高橋です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

最後に、本日進行を務めます私、総務課長の神戸です。よろしくお願い申し上げます。

それでは、次第の4の連絡事項です。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項が3点あります。

まず1点目は、こちらのお手元に配付しています出席者票にご記入をお願いします。所属団体名、そして氏名は必ず記入し、住所欄には町名のみで結構です。よろしくお願いいたします。

2点目です。この懇談会では情報公開用の会議録作成のため録音をさせていただきます。この記録を要約した形でホームページにより公表します。また財団報ぱれっとには抜粋した形となりますが掲載をします。なお、発言者の氏名は公表いたしません。

最後に3点目です。この会の終了予定時刻は午後9時とさせていただきます。

以上が連絡事項となります。

この懇談会に初めてご参加の方もいらっしゃると思いますので、利用者懇談会についてご説明いたします。日頃たづくり、グリーンホールを利用されている方々と意見交換をし、お寄せいただく皆様のご意見により、より良い運営を目指していきます。その趣旨をご理解の上、よろしくお願い申し上げます。

そして、利用者の皆様から財団への意見をいただくということ、利用者の皆様同士での意見の交換や財団から皆様へのお願い、また市からのお願いなどを双方にとって有益な機会となることを意図しています。円滑な進行にご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、次第の5の懇談に入ります。毎回懇談に入る前に前回行った利用者懇談会でのご意見等に対する、その後の対応の確認を行っています。本日の配付資料であります要望事項等対応表、こちらの右側の欄に太文字で記しました11月6日現在までの間の対応状況の部分が該当となります。

なお、この確認につきましては、その後の対応がないものは省略させていただきます。

では、確認を進めます。お手元の資料の3ページ、2番の(2)の一番最下段になります。

○F

神戸さん、ちょっと待ってください。Fですが、最初のページから確認してください。財団でまとめた資料で、どうもそうではないのではと思う点があります。飛ばさないで最初から確認してもらいたいです。

例えば、1項目の理事会、評議員会の傍聴許諾については、「傍聴の必要性が生じた状況においては、これを検討することを確認しています」とその後の対応欄に記載があります。(1ページ目の1項)

○神戸総務課長

わかりました。その点につきまして、後ほど説明があります。

○F

後で確認するのであれば結構です。

○神戸総務課長

今、傍聴につきましてお話をいただきました。理事会等の傍聴の件につきましては、来月18日に理事会を開催し、審議をさせていただく予定です。

それでは、3ページの(2)最下段です。(2)の対応事例を受けてということで、読み上げをさせていただきます。前回からの事例を受けてという形になります。「参加費の徴収を認められ活動はとてもしやすくなりましたが、物品販売については認められないというのは、やはり納得できない。営利団体ではないと把握されている団体については、物品販売も認めていただきたい」というお申し出をいただいております。

こちらに関しては、「物品販売の可否につきましては、これまでのご案内のとおり、物品販売は営利を目的とする要素が強く、また設立目的との関連性を示すことが難しいため、不可の結論に至っております。こちらにつきましては、引き続きご理解いただきますようお願い申し上げます。」

以上が回答となります。この件につきましてご意見等ありますでしょうか。

(「ありません」の声)

○神戸総務課長

よろしいでしょうか。それでは、進めさせていただきます。

続きまして、7ページの項目10になります。こちらは平成25年6月29日、前回の懇談会を受けてになります。「1階のエレベーター横にモニターがあり、今日の催し物の案内が出ていますが、たづくりには自転車で来る方が結構いると思います。駐輪場は地下1階にありますがモニターはないので、一度1階に行き確かめることになります。できれば地下1階にもモニターが欲しいです」というご意見をいただきました。

この件については、「モニターのご要望は承りました。初めて来る方も含めて来場者の動線の検証を行い、的確な場所に設置をいたします。平成26年1月に設置予定です。」

以上が回答となります。

○F

これは回答になっていないです。要するに地下に設置されるわけですか。

○神戸総務課長

はい、地下に設置する予定です。

○F

そうでしたら、地下に来年1月に設置しますということでもいいのではないのでしょうか。

○神戸総務課長

わかりました。

○F

一昨日、この要望事項等対応表をプリントアウトしましたが、今日配付された資料と大分変わっています。この3、4日で内容を急遽お変えになったわけですね。10月16日現在がホームページに出ていました。それが今日配付される資料だと思っていましたが、それから変わっているところがあるので、この2、3日前に急遽変更したのでしょうか。

○常廣総務課長補佐

本日お配りしてある資料をホームページに公開したのは実は昨日なのですが、会の開催直前に当たって最終確認をし、対応できることは対応させていただくということで反映させたものをアップしてお配りしています。お手元にある資料は10月16日現在とは内容が変わっているところがあります。

○F

要は地下1階に、来年1月に設置していただくということですね。結構です。その前の動線云々というものは、全部要らないわけですよ。

前の文章をそのまま残しているから、こういう表現になってしまうのです。

○神戸総務課長

わかりました。また内容につきまして、直近まで対応する努力をさせていただいているところもお酌み取りいただければと思います。

○F

誰もが一気通貫で見て、分かる文章にしてください。

○神戸総務課長

わかりました。今回、確認の内容につきましては以上となります。

それでは、ここからは新たな話題等に関して、お1人ずつご意見をいただければと思います。

出席者の皆様方からお話をお伺いできればと思いますので、よろしく申し上げます。また発言の制限は特にはいたしません、全員の方が話す時間がとれるよう、ご協力をよろしく申し上げます。発言がある場合には挙手いただき、私のほうから指名させていただく方式で進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいですか。では、こちらから指名させていただきます。Pの方、どうぞ。

○P

Pと申します。

回答を全部読み終えたわけではないのですが、少し気になったところがあります。

1 ページ目の「理事会などで審議したときに必要性が生じた状況においては」という表現があるのですが、傍聴の可否については、理事会などが必要性を判断するというのは、違和感があります。

○F

おっしゃるとおりです。

誰が必要と感ずるかということですが、私もこの件については指摘しようと思っていました。必要と感ずているのは、市民です。

○P

この件については、事務局の方でも検討する際にしっかりと検討していただきたいと思っています。この懇談会に参加してみると、前回6月29日の懇談会時に挙げたものだけかと思ったら、その途中に出たいろいろな要望も検討していただき掲載されていますので、このことは決してまずいことではなく、いいことなのです。ホームページにアップされるということで、以前にもそうだったのですが、確かに11月6日現在、先ほど10月16日現在のものがアップされていたという話でしたが、懇談会が終わった後、1か月程度で議事録がアップされれば、例えば同じグループの人たちに、そこで話題になったことはホームページにアップされていますと伝えることができます。

私も最近見ているわけではないのですが、アップされるのが随分時間がかかり、次回の懇談会の間近になるようなことがあったように思います。折角、たくさん意見が出て良い懇談会になっているので、その意見や対応が早くに利用者に届くようにホームページにアップしていただければと思います。これは大変なこととは重々承知していますが、そうでないと年2回の実施でなかなか利用者の声が運営に生かされるのが少ないような気がしますので、迅速な対応をよろしくお願いいたします。

また先ほど利用が大変多くなってきて予約がとりにくいということですが、これは私たちも感ずていることで、特にホール系は、なかなか予約が取りにくいところです。様々な催しを実施する団体は苦勞しています。財団だけで解決できる問題ではないかもしれません。本当に市の方で、施設の充実や予約方法等を検討していただかなければならないと思っています。利用者としては非常に切実に感ずています。

今、文化祭を開催しているところで、音楽団体で音楽連盟にも加盟して文化祭やイベントの準備の時には、どの団体でもそうだと思いますが、やはり荷物が多くなり、借りているロッカーだけでは入り切れないということが多々あります。一時的でもいいので、置ける場所があればと思います。

プログラムを大量につくって保管する場所に困ることもあり、またいろいろご相談させていただくことがあるかと思えます。ぜひ柔軟に対応していただければと思います。

○神戸総務課長

ありがとうございました。

○F

関連で発言していいですか。これは事前に一昨日ですか、幹部の方に提案議題をお送りしていますので、見ていただいていると思えますが、今の発言があった議事録公開の迅速化についてです。

提案議題の第1項ですが、利用者懇談会、それから理事会、評議員会議事録のホームページの公開迅速化というのをお願いしてあります。6月に開かれた利用者懇談会の議事録がホームページに出たのが10月上旬です。それから4月の理事会、5月の理事会、評議員会の議事録が10月25日現在はまだ出ておりません。議題と、それから評決結果の表が1ページだったと思えますが。それが出ているだけで、議事の内容は全く不明なまま10月下旬までできています。要はいつ議事録としてホームページに出るのかというのがどうも決まっていなくて、理事会、評議員会の傍聴は許諾しません。議事録の公開は半年以上ほったらかしですというような状態で、本当にいいのかということ。こういう議事録は極力、今発言があったように早くするべきであり、財団としては会議の後1か月以内にホームページに出すというような規定をつくって、それを守ってもらいたいですよ。そうでないと先ほどのように何か会議をやっているが、結論は何も市民には公開されないというまま半年過ぎているということになっていますから、これはぜひやっていただきたいです。

それから、今日配付の資料には記載はないのですが、10月16日現在の対応表では、「徹底した議事録の公開を行っており、市議会からも評価をいただいています」という自画自賛の言葉があったのですが、さすがに本日は削除しています。顧みるべきところは顧みて、きちんとやるべきことはやってもらいたいというのが、今の議事録公開の迅速化のことです。議事録公開の件については、ぜひ期限を定めてやっていただきたいということ。です。

○常廣総務課長補佐

今、PさんとFさんからもお話がありました議事録の公開の件ですが、この件につきまして10月25日にFさんからご指摘のお電話をいただいております。

今後ですが、理事会、評議員会、利用者懇談会の公開のタイミングについてですが、これまで開催から概ね3か月ぐらいの時間をいただいていたとか、あと今回については特に遅れてしまったということがございました。今後は、会議録につきましては各会の実施から2か月以内ということを目途に公開させていただくことで徹底したいと思えますので、よろしく願いいたします。

○神戸総務課長

この件に関しましては、いろいろとご迷惑をおかけしております。財団の方で2か月ということで決めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

○F

それから先ほど傍聴の必要性を感じた場合というのは、的外れのように思います。必要性を感じたのは市民であって、財団の理事及び評議員の皆さんではないということです。それを間違えないようにしてもらいたいわけです。

なぜ傍聴私だけではなくて、他の方も希望しているのか。税金で運営している以上は当然の話なのですが、特に以前申しあげたような消費税還付を誤ってたくさん納め過ぎ、それを事故車両の新車購入の代金に充てるとかね。それからコンサートのチケットのばらまきに使ったようなことは、どうも市民の方からみると納得しがたいです。やはり理事、評議員はしっかりしていただきたいということもあり、傍聴を希望しているわけです。市民から信用される理事会、評議員会であるべきです。もう常務理事自身が傍聴には非常に後ろ向きなので、私はちょっとこの方では無理かなということまで思っているのですが、傍聴の必要性を感じているのは市民であって、財団側ではないです。理事側ではないし、評議員側でもないということを強調しておきます。

○神戸総務課長

先ほどPさんからいただいたご意見から回答させていただきます。

○渡部施設管理係長

文化祭の開催中に関して、大変お世話になっております。

音楽連盟さんのプログラムについては、先日、コミュニティ室に当日まで一時的に保管していただいたところですが。文化祭に関しては私どもも主催です。コミュニティ室は、昨年暮れに置いてある荷物を皆さんにご協力いただいて、移動させていただいているところではありますが、文化祭に関してはプログラムが多いこともあり、柔軟な対応を今後させていただきたいと思っています。私どもの課で調整して皆さんがやりやすいような環境をつくらなければならないと思っています。またお話をしていきたいと思っていますので、今後ともご協力をお願いいたします。

○神戸総務課長

それでは、先に進めさせていただきます。

Qの方、どうぞ。

○Q

Qと申します。

今日また参加者の市民の人たちは非常に少ないのですが、例えばたづくりに対して投書箱ですと

か、ご意見ノートのようなものがあると思いますが、これは利用者懇談会のみ意見の内容ですが、その他ではどのような意見が多く出されているのでしょうか。

○渡部施設管理係長

ご意見の聴取方法等も含めて内容ですよね。

○Q

そうですね。

○渡部施設管理係長

この利用者懇談会が年2回あります。また、施設の利用者にアンケートを書きいただき、1階の受付にお帰りの際お預けいただく方法と、年に2回ほど1か月間集中して利用者の皆様に対してアンケートにご協力いただいているところです。

アンケート結果につきましては、現在平成25年度の前期ということで7月13日から8月18日までの結果がこちらにあります。昨年度も2回実施しており、1階の受付と7階のカウンターに、ご覧いただけるように閲覧用があります。

アンケート結果の中で多いものは、感謝の言葉をいただくことももちろん多くあるのですが、部屋の温度や案内などについてです。たづくりの場合はルールが非常に複雑ですので、その説明がわかりづらいというご意見をいただいております。概ねインフォメーションや舞台スタッフに関しては満足しているご意見をいただいております。清掃に関しては夏場に1階のトイレの利用が特によくなるので、そちらについての声や、省エネをさせていただいておりますので、室温が夏場では暑いというご意見等々もあります。

○Q

そういった意見を集め、それに対する回答というのはこういった形で、公開されているのでしょうか。

○渡部施設管理係長

はい、平成24年度分はホームページに出ています。平成25年度分は前期が終わったものに関しては集計し、まとめた上で一件ずつどういう対応をしたのか、またどのように対応していくのかも含めてまとめている途中です。平成24年度分については、1階と7階のカウンターでご覧いただけるようになっています。

○Q

利用者からいただいた意見と利用者懇談会で出た意見の扱いは、一緒と考えていいのですか。

○渡部施設管理係長

利用者の方、市民の皆さんの声を聞くというところでは同様に扱っています。ただし、利用者ア

ンケートに関しては、この場でフィードバックするようなことはしていません。

○神戸総務課長

いろいろなご意見をいただく中で、お叱りの言葉、お褒めの言葉、全て私たちのほうで把握するようにし、改善に向けて対応しているところです。

○土方事務局長

他の意見がみえないということですよ。どのような意見が挙がって、どのように解決をしているのかわかる手法がないから考えてくださいということでしょうか。

○Q

ここにいる人たちの意見のみしかわからないです。

○土方事務局長

わかりました。それぞれ考えます。

○常廣総務課長補佐

意見をいただく機会ということで、もちろん利用者懇談会は大切な場として考えています。

アンケートの他にインフォメーションに直接お伝えしていかれる方、またスタッフや事務所にお伝えしていかれる方もいますので、そういった意見も大切に取扱いたいと思っています。

○神戸総務課長

では、次の方よろしく願いいたします。

○R

Rといいます。

私は、サークルに入っていて、毎週水曜日の夜、ここをお借りして実施しています。休館日が4日間続くことがありますよね。私は、他の公共施設の休館日がどうなのか調べたこともないので、このたづくりが多いか、少ないかということも、そういう意味ではよくわかりません。それを前提に発言させていただくと、やはり毎週定期的にサークルをおこなっている者としては、休館日があるということが非常に大変です。

私が、記憶しているのですが、このたづくりが建てられた時に、通年開館ということをやっていた。大したものだと思っていました。もちろんメンテナンスも必要ですので、通年というのは難しいのかなと思っています。年末年始はお休みも必要だと思いますし、4日連続で9月と2月に休館日がありますよね。そのときはここが使えないので、最近は教育会館を使っています。そこを例えば2日間にするとか。4日間というのは図書館もあるので長いと私は思います。その辺は資料にも出ていましたよね。いろいろメンテナンスや消防の講習が必要だという話ですが、それは本当に休館にしてやるべきことなのかどうなのかということが1つ、疑問です。

それから最初に申しあげるつもりだったのですが、私も今回4回目の参加で、ずっとここに出させていただいています。いろいろと感じたことや気がついたことを申しております。映画会などでは映像シアターをよく使わせていただいています。以前ですが、その際のホールの音響のスタッフの対応があまり良くなかったことがありました。それが意見として申しあげたら非常に良くなりました。この間も映像シアターのスタッフと打ち合わせをしたのですが、女性でしたが、優しくこうしたらいかがですかとアドバイスもいただき非常に良かったです。この8月にくすのきホールも使ったのですが、その時もとて感じがよく、やはりこのような場は大切だなと思いました。私たちの意見や要望を受けとめ、改善していただいていることに感謝をしています。

あと、Fさんがおっしゃる傍聴の件はいろいろあるのですが、やはり税金が使われている施設の理事会を傍聴できないというのは基本的におかしいことです。Pさんが最初に指摘したように、「今後傍聴の必要性が生じた状況においては」など書かないほうがよいです。私は基本的に非公開であることはおかしいと思います。

もう1つあります。8月の映像シアターでのチケットの件ですが、チケットの取り扱うことをこそそそやなくていいのでとてもありがたかったです。また、6月のたづくり利用者のお祭りの時も、以前はクッキーを隠してこそそそ売っていました。今後は堂々と障害者の作ったクッキーを売ることができ、こんなに気持ちが高らかなのかというのが実感しました。それはとても良かったと思います。

しかし、くすのきホール以外のところでは禁止ということで、私たちが映画会を行い、CDなども欲しいという人がいた際に、売れないという状況でした。これは何とかならないのかと今も思っています。

○神戸総務課長

Rさん、ありがとうございました。

○渡部施設管理係長

公の施設の休館日は、月曜日の休館日というところが一般的に多いと思います。グリーンホールも月曜日が休館ですが、たづくりは第4月曜日とその翌日と条例上定めた中で運用させていただいています。臨時休館日は9月と2月にあり、2月は申しわけないのですが、土日を含ませていただき平日利用の方への配慮としています。逆に9月に関しては平日だけで、土日利用の方への配慮をさせていただいているところです。休館日に関しては、どうしても連日でないとできない作業を集中して行っています。

避難訓練については、もちろんそのために休館日を設定してはおりません。例えばエントランスに大きな足場を組んで、照明の点検や修理をしなければならない状況の中で、我々スタ

ップは時間がとれますので、そういった場を利用し避難訓練を充てています。もちろん、わざわざ消防避難訓練をするに当たっての休館日というところではないです。

開館当初は6日だったのではないかと思います。

○Q

年間に？

○渡部施設管理係長

年間にではなくまとめてです。例えば9月に6日間という設定でした。現在は必要最低限の4日間とさせていただいています。一般的にデパートやホテルでは休館してしまうと、もちろんお客様の入りが無いのですが、そのような中では夜間にメンテナンス作業をされていると思います。夜間のメンテナンスや部分的に改装中というようなテナントをみかけることもあります。やはり費用面で昼間作業される方と夜間作業される方での経費の違いがあります。また以前大阪の方であった事例ですが、一部の部屋をメンテナンスしている際に大きな火災が発生し、工事中だったことから、避難経路がどうしてもとれず大きな災害となったことがあります。一部の部屋のメンテナンス中に会館自体をご利用いただくことも可能ではあるのですが、極力危険な状態は排除した中でのメンテナンスを心がけさせていただいているところですので、ご理解いただければと思っています。

くすのきホールのスタッフについてお褒めの言葉をいただき、スタッフにも伝えました。今後とも気を引き締めて対応に当たるようにしていきたいと思っています。

最後に物品販売についてです。またご希望に添えない回答となっているところではありますが、こういったやり方はできないが、このようなやり方はどうですかというような提案や相談をいただく中で一緒に考えていければと思います。今後ともご理解いただければと思います。

○土方事務局長

理事会の議事録の件については、先ほどからRさんやFさんがおっしゃった意味はよくわかりました。以前のこちらの考え方としては、ホームページでの情報公開で十分ではないかという判断がある程度ありました。ただし、さっきおっしゃっていただいたようなご意見で税金を使っている施設であるなどの意見がありましたので、来月の理事会で諮るつもりでおりますので、よろしく願いいたします。

○F

そのときに、前に常務理事が説明した、議事録の傍聴を希望しているのは1人だけですよというように事実じゃない点を理事及び評議員に説明してください。

○土方事務局長

今回は3名の方からご意見をいただいていますので。

○F

そうではなく、理事、評議員に本当のところを説明して、議決してください。

○土方事務局長

3名の方からご意見をいただいていますので、それはそれとしてきちんと伝えます。

○F

ちゃんとしてくださいね。

○土方事務局長

それは間違なくお伝えします。

○F

事実を曲げて報告することのないように。

○土方事務局長

事実を曲げてはいないと思います。

○F

いや、曲がっています。議事録に書いてあります。

○土方事務局長

では、今回の3名については私もきちんと確認しています、本日ご意見をいただいて、それも付加しもう一度議論しますのでお時間をください。

○F

傍聴できるのは当然なので、それをぜひ力説してもらいたいです。

○吉田常務理事

ですから、先ほどRさんからお話がありましたように、要するに税金でつくられた施設ということ。今局長も申しあげましたが、そういった視点に立ち返って再度検討するということにしていきたいと思っています。

○F

秘密を要することは当然あるので、そのときには退席しますと私のはっきりいっています。議事録を確認すると、人事のこともあるのでとありましたが、そういう場合は当然傍聴できないのは当たり前ですので、そこまで傍聴させろということではないです。

○土方事務局長

それについてもきちんと説明します。

○F

はっきりしておりながら、いまだに理事も評議員も傍聴を許可しないのですが、それは大変な間

違いですからよろしくお願いします。

○神戸総務課長

では、Rさんのお隣の方、よろしくお願いいたします。

○T

Tと申します。

6月にも参加しました。前回ですが映像シアター利用時に1階インフォメーションのところに出す看板の件でお話ししました。それについての回答が、私が見落としているのか出ていないです。

それに対してはどうなっていますか。

また、これは私たちの会の会長が言っていましたが、減額団体のときに住所、氏名。住所も番地まで全部書けと最初に出ていたのですが、今は町名だけでいいよと。そのようになったことで、手間が省けありがたかったということでした。

もう一つは、これもできるかどうかわからないことですが、エレベーターについてです。4基あるエレベーターが待てど暮らせど来ないことがあります。来る時には2台も3台も一遍に開くことがあります。コンピューターを使って制御しているのだから、もう少し何とか間隔を狭める方法がとれないのかということでした。

それと、今どこにエレベーターがいるのかということが分かればまだいいのですが、現状ではどこでエレベーターが動いているのかさっぱりわかりません。だから余計いらいらしてくるということもあります。エレベーターについて検討してもらいたいです。

○神戸総務課長

Tさん、最初にいただいたお話ですが、映像シアターの利用で、これは1階のインフォメーションのところに看板を設置されたということでしょうか。

○T

映像シアターから中にある看板を1階に持って行っていいということでした。前回、私たちが利用した時には、たづくりの看板が何か出ていました。その横に並べようとしたらもう通路だからだめだといわれ、結局たづくりの看板の後ろに並べるような形になってしまいました。もう少し離すと宣伝のチラシの棚があり、結局、立てても、立てなくても同じような状態で、前回どうにかならないのかなということをお願いしました。それに対する回答がないような気がします。

○渡部施設管理係長

わかりました。前回ご参加のTさんですね。

○T

はい、Tです。

○渡部施設管理係長

恐らく前回か、前々回になるのか。もしかしたらお手紙の中で、私もシアターのご利用に際して1階に看板を出された時に良い場所に置けなかったというお話は伺ったことがあります。お手紙での回答を確認させていただいて、後ほどご連絡させていただいてもよろしいでしょうか。

○T

後からもらった手紙だと思いますが、その控えを私は持っています。それには映像シアターの件は載っていないと思います。

○渡部施設管理係長

そのときの私の手紙はお持ちでしょうか。

○T

いや、今はわかりません。

○渡部施設管理係長

もしそのような失礼な取り扱いをしたのであれば、お詫びさせていただいき、そのようなことは今後ないようにいたします。

○T

ないようにというか、どういう対策をしてくれるかということが知りたいわけです。今日出席している方が担当してくれるのであればいいのですが、担当者はまた別の人がしますよね。一応決まり事であればいいのですが、同じことの繰り返しになってしまうと思います。

○渡部施設管理係長

下に看板を出すのは大丈夫なのですが。

○T

そうです。大丈夫だと言いました。

○土方事務局長

前に利用した際、そのような状況になってしまったのかわかりませんが、これからは、通常はそういう形で置かないように徹底していきます。たまたま前回は看板の後ろに立てられてしまったということですね。

○T

立てられてしまったということではなく、そこに置いてくださいと言われました。

○土方事務局長

そういう指導をされたということですね。

○T

そうです。

○土方事務局長

わかりました。それについては財団で指導します。

たまたま先ほどRさんが言ってくれたような形でうまく対応して反映された部分と、今おっしゃったことのように対応されていないことがあるということですね。それについては分かりました。

○R

すみません、関連なのですが、1階の受付に何人かいらっしゃいますよね。

○土方事務局長

はい。

○R

例えば映像シアターでチケットは有料でも売っていいことになりましたよね。そういったことが受付の方たちに徹底されておらず、8月に映画会を実施した際ですが、申込においてここは資料代と書いてください、有料ではだめですからということと言われたことがありました。いや、それについてはこのようになったと説明しても、そんなわけないというような対応をされたんです。

はこういうふうに決まったんですよと言っても、そんなわけないみたいな対応をされました。だから、指示が徹底されていないと思っています。

○土方事務局長

漏れがないようにします。

○T

そのためにも対応表に載せておいてくれれば、こちらからも説明しやすいわけです。

○土方事務局長

わかりました。

○神戸総務課長

そちらも徹底をいたします。

○渡部施設管理係長

あと、エレベーターですね。

○T

はい。

○渡部施設管理係長

開館以来よくテーマとして挙がってくる話題です。たづくりは群管理方式という方式をとってい

ます。大きなデパートに行くとエレベーターが3、4基並んでおり、ボタンを押すと全基が追いかけて動いてくると思いますが、実はたづくりの中はそのように動いてないです。メーカーからの説明ですが最も効率的に動いており、エレベーターが追い越したりもします。

○常廣総務課長補佐

エレベーターの群管理方式というのは、4台エレベーターがありますが、例えば8階でボタンを押したとすると、4台のうちで一番近いところにエレベーターが1基、上に上がっていきます。そういうことでどれが一番先に行くのか、どれが速く効率的に動くかというのを計算しながら動いています。ですが、例えば12階、一番上の階でエレベーターが満員になっていて、ボタンを押して全員が1階に下りていく。ところが、途中4階で私も下りたいという方がボタンを押しているとしたら、そうすると、そのエレベーターは満員で乗れないので、そのエレベーターは1階まで行ってしまいます。そのかわり違うエレベーターが4階に迎えに行くということになります。

先ほど階数表示がないというご意見が挙がりましたが、例えばそこで階数表示をしてしまうと、今12階から来たエレベーターが待っている人がいる4階を通過してしまったじゃないか、あるいは一番近くにいるはずのエレベーターが違う理由で来ないということで、かえって混乱を招く結果になってしまうので階数表示をしないエレベーターとなっています。最近、建てた建物だとそういった方式で、ボタンを押しても矢印が出てないというケースは結構あります。パルコさんのエレベーターというのは階数表示をされています。ところが、見ていると上層階でボタンを押してる人がいると、例えば2台だったら2台のエレベーターが一遍に上に上がってしまうもので、全部片道通行で上まで行って1階まで下りてくるというエレベーターでした。うちのエレベーターは絶対片道通行で行かないで、一番近くのエレベーターが適したところに迎えに行くという方式をとっています。

それでも何でエレベーターがあんなに来ないのかということですが、もともとたづくりの建設計画の時には、大体1日に3,000人ぐらいの人が来るという想定で、4台のエレベーターで足りるだろうという計算で設置されています。ところが実際は、平日で平均5,000人、あるいはイベントがある土日になると、さらにそこから6,000人、7,000人と増えることもあります。そのようになるとなかなかエレベーターが待てど暮らせど来ないという話になります。

当初の計画よりも来場者が多く、エレベーターの台数が少ないというのは正直なところですが、だからエレベーターがなかなか来ないという状況です。

エレベーターについては、現在のところできるだけ効率的なプログラムを組んでいますので、ご了解いただくしかないというところでもあります。

○R

Tさんがいっていたことですが、やはり何階に今いるのか知りたいですし、表示がないというのは最新式なのかすごい疑問です。例えば今8階にいて、「ああ、止まらなかったな、きっと満員なんだろう」と私たちはそのように思います。それで「何だ、ここ、止まらないのか」とは思わないです。

私は実は開館の時から、こんなエレベーターは見たことないといっていました。どこに止まっているかわからないし、どこに今いるのかわからないエレベーターです。ああ、今この辺に1基いると分かれば結構、人って安心ですよ。だから4基でどこへ行っていいかわからず、後ろを見たり前を見たりします。何年か前からか鏡がつかまりましたよね。あれは、そういうことを避けるためにつけたのかなと思いました。私は赤と青と、どこがつくかわからない。こんなエレベーター、本当に最初から見たことなく、やはり何人かの人からそういう意見が出ていました。当時の事務局長の説明だと、これが最新式という説明でした。びっくりして、最新式がこれなのと思いました。

もう1つあります。図書館が一番利用者が多く4階、5階です。普通は階段を使っても行けるようにと2階、3階に図書館をもってくるべきだという市民の意見がありました。それについては以前もいったと思いますが、意見を出していたにもかかわらず一切通りませんでした。もちろん設計上いろいろあるのですが、だからあの表示がないエレベーターをつけたこと、それから市民の声を聞かないで図書館を4階にしたこと。4階だと階段を使いませんよ。結局、利用者が増えていけば困った状況になってしまいます。そういうことも私はあるとあっていて、いまだにすごく腹立たしく、あのエレベーターに乗るたびに思っています。そう思っている市民がいることも分かってください。エレベーターを変えられないのですか。表示をつけ直すことはできないのでしょうか。

○土方事務局長

それについては何とも今いえません。表示がついていると待ち時間の精神的な負担が少なくなるのでしょうか。

○T

なりますね。

○R

なります。

○渡部施設管理係長

私もRさんのおっしゃることはわかります。階数表示が出て安心するときと、表示があって行き過ぎた後だとかえってストレスを感じる時もあります。どちらか選べといわれると、悩ましいところではあります。

○R

いや、利用者の心理として普通に表示が出たほうがいいです。

○土方事務局長

私が、市役所の1階でエレベーターのボタンを押して待っていた時、あそこは3台で、上から来たエレベーターが2階まで来たなと思ったら、2階から下に降りてこずに上に行ってしまったんです。隣りのエレベーターの方が、それよりも上の5階にいるのに1階まで下りてきて、そのエレベーターは2階から上に逆走したんです。あれはまた別でしょうか。

○仁藤文化振興課長

多分、群管理方式をとっていますが、表示が出るエレベーターです。

○R

だから表示が出ないことで、どこに来るのか、どこにいるのかが、気になってしまいます。それは人間の心理じゃないでしょうか。

○土方事務局長

おっしゃる意味はわかります。今何とも期待する答えはここではできません。

○R

お金がかかるだろうが表示を出すということでどうでしょう。もう何年ですか。できて18年と先ほどいっていましたが、だから設計する人が、それから建設にかかわった人たちが、何でそんなエレベーターを設置したのかといまだに思います。

○土方事務局長

それはご意見として伺っておきます。

○T

群管理方式というもので、動いているということでしたが、エレベーターをみて赤いランプがこっちでついているなと思ったら、今度は消えて裏のエレベーターのランプがつくということがありました。

○土方事務局長

ここが来るという合図ですよ。

○T

そうです。

○渡部施設管理係長

それはもっと速く効率的に動いているエレベーターが最寄りにいたので、駆けつけたわけです。

○T

それは今の話で納得しました。

先ほど今はコンピューターで制御し同時に開くことはないといっていました、2、3日前に2基が同時に開いたことがありました。そこで同時に開かなくてもと、思いました。待っている人がたくさんいるときであればそれでもいいですが、2人程度で同時に開いたってしょうがないことですよね。その辺はどうにかならないでしょうか。

○土方事務局長

ご意見として伺います。

○R

もう設立の当初から意見が出ています。4基もあって何て使いにくいのだろうと。

○神戸総務課長

わかりました。ご意見として承らせていただきます。ありがとうございました。

ではVの方、どうぞ。

○V

Vと申します。

私も質問というか、1つだけ気になっていることがあります。やはり1番目の項目のところの傍聴のことです。先ほどこちらの方が、傍聴させるのは当然というようなことをおっしゃったのですが当然です。このお答えは私も理解できないのですが、こちらの質問に対しての答えにはなっていないと思います。

まず、理事会と評議員会と2つありますよね。評議員会の構成メンバーと、それから定例開催日を教えていただきたいです。それで私も1995年の開館の時に、公民館的機能をもたせるということでこちらは開館しましたよね。その時に公民館には公民館運営審議委員という市民の声を反映する委員が15名いて、定例会で様々な協議しております。公民館運営審議会にのっとったものが評議員だと私は理解しました。

当初、公民館運営審議委員の方が評議員になられたり、何人か公民館活動をされている方が評議員の中に入っておりました。評議員の選出方法というのもどうだったかと思うところがあります。

要するに評議員の中に市民の団体サークルに所属している人とか、市民という枠を確保されていたように記憶しています。またそこで評議員として審議しているものと思っておりましたが、今はどういう状況になっていますか。私も公民館活動に軸足があり、こちらについてはよくわかりません。それで私も以前個人として、なぜ傍聴できないのかを職員に聞いたことがあります。

ホームページで公開しているからというご答弁でしたが、ホームページというのは、高齢者にな

ると必ずしも誰もが見ることができないと思います。情報公開しているといっても、それは幅広い情報公開ではないと思います。

私は議会や教育委員会を傍聴するのが活動の柱になっているので、いろいろなところへ傍聴に行きます。ホームページで議事録も確認します。ですが傍聴したときの空気や感覚というのを生で感じ取ることはたくさんあります。市議会もそうです。市長にすごい低姿勢にお辞儀をしている議員もいるとかいろいろ状況があり、ただホームページで議事録を読むところでは感じ取れないことです。ですから傍聴したいという市民がいる限り、公開していくべきだと思います。その辺をもう一度、理事、評議員の方々、一人一人によくお考えいただいて、また審議していただきたいと思います。

構成メンバーと、それから定例会の日程が公開されていると思いますが、ちょっと今確認したいので教えてください。

○土方事務局長

まず傍聴の件ですが、先ほどいいましたが再度理事会で議論し、その後評議員会においても議論いたします。別々になっていますので、先ほどのご意見を受けて議論となります。それから評議員会というのは年間で定例会が1回となっています。

○V

いつですか。

○神戸総務課長

定例会は、概ね5月に開催しております。

○土方事務局長

必要があれば臨時の評議員会というのをやっております。高齢者の方はホームページを見られないということですよ。

○V

高齢者の中には見られない人が多いです。市役所4階の資料室に行けばわかりますか。

○常廣総務課長補佐

理事会、評議員会の開催時期は今までは出してないので、時期はわかりません。もし公開することになれば出していくことになると思います。

○土方事務局長

実際は終わった後、ホームページでこういう議事がありましたという形で今出しています。

○V

それは財団報ばれっくに載っていますよね。あの程度ですよ。

○土方事務局長

そうですね。

○V

それはわかります。

○土方事務局長

先ほどいった傍聴の件と絡んできますが、それも含めて議論という形になると思いますので、ちょっとお時間をください。メンバーについては、今どういう方かということが知りたいということですよ。

○V

後で教えていただけますか。

○土方事務局長

後でお知らせします。

○V

その中に市民のサークルや団体など、そういったメンバーはいますか。

○土方事務局長

それは後ほど説明いたします。

○R

すみません、構成メンバーは何人ですか。

○神戸総務課長

評議員会は全部で6名です。

○R

最初から、開館当時から6名なのですか。

○土方事務局長

今ここでどなたかとはいいませんが、市民からの代表は入っております。要するにたづくりを使っている利用者の代表の方は入っております。

○V

わかりました。ありがとうございました。

○F

関連しまして、理事、評議員の名前はホームページに出ています。ただし、どういう経歴の人かというのは出てきません。私は独自で調べましたが、例えばサークルの先生であるとか、大学の先生ということは何とかわかりました。市民はどのようなバックグラウンドをもった人が理事、評議員

をやっているのかを知りたいのです。

○V

理事や評議員は誰が選ぶのですか。

○F

それはわかりません。市民代表は入っていないと私は思っています。

○P

その辺のことで発言したいのですが、利用者会議発足当時、たづくりができる前からこの会館をつくるに当たって建設の懇談会がありました。どのような会館をつくるかという懇談会として、懇談会委員を推薦してくださいということで利用者会議からも委員を選出しました。そこで市長に対して答申案を出しました。その意見をぜひ尊重して建物をつくってくださいとお願いしました。答申と懇談会で議論されたことの内容が若干、違っていました。ですので、懇談会の意見を尊重してくださいということを利用して私が利用者会議の代表として提起しました。

そして市民の代表ということについては、どういう人が市民の代表といえる団体かというのは非常に難しいところだと思います。いわゆる知識人というところに、だんだん収束していったように私は思います。だから利用者の声を反映していますというのであれば推薦する母体が、利用者を代表するような組織から推薦してもらうとか、そういう声を反映するような選び方が少し工夫されるべきじゃないかと常々思っています。今は評議員が6名ということですが、確か以前はもう少しいたような気がします。その辺りのところは、やはり利用する市民の声が反映されるたづくりであってほしいです。ぜひよろしくをお願いします。

○F

その件に関連しまして、この利用者懇談会が始まったのは今年で8年目となりますが、私も退職後、いろいろな勉強をさせてもらうためにお世話になっています。目についたのはいわゆる市民不在の運営です。これが目につき、それで利用者懇談会を開いて、利用者の声を直接吸い上げなさいということで始まったのが8年前です。それから毎年2回ずつ開催してもらっています。

今おっしゃったように、理事、評議員に利用者の代表を1人入れなさいというのを、常々いつてきたのですが、財団側からは利用者の代表は入っておりますからという返事だけで実際は実現しておりません。現実には、いわゆる知識人という方に財団から委嘱をされているだけです。

具体的に利用した上での不便な点など、その辺を経験なされた理事、評議員はいらっしやらないと思っています。そういう経緯があります。ですから今お話があったように利用者代表や市民代表をどちらかに入れて、利用した上での運営の改善はさらに実現できるのではないかなと思います。利用者懇談会は何回も申しあげますけど8年前の担当幹部の方は全くやる気がありませんでした。

なぜやらないんだといったら、この会館が始まった当時1回か2回開催していましたが、特定の圧力団体から無理難題をいわれ、そういった意見を聞いているのはちょっとかなわないので利用者懇談会はやりませんというのが、当時の事業課長か誰かの返事でした。それではだめだということで、市長に申しあげ、8年前から始めたという経緯があります。

財団としても、利用者のニーズを吸い上げてよりよい運営をしていただくのに、この利用者懇談会というのは非常にいいと私は思っています。後で出席者の数の増加策もお話ししますが、そういう経緯があることを再認識して運営していただきたいと思います。

○神戸総務課長

ありがとうございました。

○V

もう1つ、防災訓練は職員の方々にやっているとありますが、その辺はどうなのでしょう。防災訓練はもう財団で職員の日を定めて、年間1回ぐらいやっていたらいいんですか。東日本大震災以降、とても不安なので。

○渡部施設管理係長

館内で働くスタッフ、財団職員だけではないのですが、そういった者を含めて利用者側とスタッフ側に分かれて訓練しています。休館中に実施していることから実際は利用者の方はいませんが、利用者と館内のスタッフを想定した訓練をさせていただいています。

○V

ありがとうございます。こちらの職員の方々はシフト勤務制をとっているため、夜間は人数が少ないですね。

避難訓練の対応や動き方は体に覚えさせるのが大事だと私も最近認識しました。やはり手薄な時間帯もあると思うので、ご検討いただきたいと思います。

○渡部施設管理係長

ありがとうございます。

○神戸総務課長

貴重なご意見をありがとうございます。ご意見は受けとめさせていただきます。ありがとうございました。それでは、Fさんお願いします。

○F

一昨日お送りした議題の第2項ですが、利用者懇談会の出席者がいつも少ないということで、いかに増やすのかということです。今回エレベーターの中に開催の告知をすることになっていたにもかかわらず、10月19日現在掲示がなかったため、それで事務局長宛てにエレベーターの中に即

掲示してくださいとメールを送りました。1週間たっても何の反応もないということで改めて電話したら、神戸総務課長から25日に掲示しましたというご連絡をいただきました。一番目につくのはやはりエレベーターの中なので、利用者懇談会の告知は必ずエレベーターの中に掲示するようにしていただきたいです。この懇談会にさらに多くの人に参加してもらうためにも、告知というのは本当に最大限やっていただかないともったいないと思います。

3番目ですが、現在生きているメールアドレスは毎日チェックをしていただきたいということで、先ほどの事務局長宛てのメールは zaidan@ のアドレスに送りました。プロバイダーからこのアドレスはもう使われておりませんと返事がないので、これは通じてるものだと思っていましたが、神戸総務課長から、見ておりませんということで、改めて syomu@chofu のアドレスにもう一度送り直しました。組織が大分変わっているので使わないアドレスができているのかもしれませんが、アドレスが生きている以上は毎日誰かが確認し、前のアドレスで送られてきてないかというのをチェックしていただきたいです。もし使っていないのであれば、そのアドレスは即登録を抹消していただきたいということです。

4番目は、近隣大学の公開講座の紹介を少し改善していただきたいです。具体例をいいますと、10月1日の桐朋の塚田先生の打楽器の講座は4、5人の学生が参加していただいて、熱演もあってとても勉強になる、楽しい講座でした。このような講座であるということが最初から分かっていたらもっと多くの人に参加いただくことができたと思います。講師の先生との事前の打ち合わせで詳細をつかんでいただき、それを紹介の中に織り込んでいただく。そうすれば、公開講座はさらに参加者が多くなり、役に立つだろうということです。

5番目のエレベーターの件はもうすみしましたので、結構です。

それから追加で、財団報ばれっとの紙の質が9月号から悪くなりましたが、経費の問題もあると思いますが、やはり紙が悪くなる、印刷が悪くなることで非常に魅力が減っていると感じます。アート紙とまでいかななくても、もう少しいい紙にきれいな印刷ができるようにしていただきたいです。平成21年の11月号で調布フィルハーモニー管弦楽団の電話番号ですが「8」を「9」とミスプリントしただけで11万5,000部を刷り直されたことがあります。それくらい余裕のある予算だと思うので、紙の質をあんなに落とすことはないだろうと思っています。ぜひ再検討いただきたいと思います。

○常廣総務課長補佐

順にお答えしていきたいと思います。

まず1つ、利用者懇談会の開催の告知ですが、今回エレベーターの掲示のほうが遅くなってしまったことについては、申し訳ございませんでした。利用者懇談会の開催の告知ですが、財団報や、

インターネットによる案内を1か月前ぐらいの時期から行っております。エレベーターへの掲示も含めて、同じタイミングで迅速に情報提供を行っていくことといたしますので、よろしく願います。

なお、周知につきましては、館を利用している方に直接開催について訴える方法として、施設を利用するために窓口で鍵を受け取りに来られた方にチラシを直接渡して、参加してくださいとの案内しているのを以前から行っています。それもまた効果的な方法だと思っておりますので、そういったことも合わせながら行っていきたくと考えております。

メールアドレスの件ですが、いわゆる zaidan@ から始まるアドレスにつきましては、実は平成19年の時点で使用を中止させていただいております。このたびFさんからの件を受け、再度チェックを行うとともに、このアドレスにつきましては直ちに廃止いたします。現在生きているアドレスは職員が確実にチェックすることを徹底していきたくと考えております。

○徳永コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

続きまして、私から公開講座についてです。先日ご参加いただいたものは桐朋学園大学の音楽学部の塚田先生の講座だったと思います。まずはご参加いただきまして、ありがとうございます。

講座の内容は日々先生とのやりとりを行っていく中で、当日の内容が決まっていく形です。財団報であるとか、市報は原稿の締め切りが早く設定されています。今後については財団報や市報に間に合わない情報につきましてはツイッターやホームページが活用できますのでそういったもので皆様に告知しなるべく詳しい情報を私どもが入手した際に即時出せるような方法をとっていきます。

○渡部施設管理係長

財団報ぱれっとにつきましては、今年の5月から紙質を変更しています。もちろん経費のところもあるのですが、実は意図があります。既にご覧になっていただいている方に関してはFさんがおっしゃるように残念な気持ちなのではと思っています。しかし今までつるっとしている良い用紙を使っていましたが、かえってマンションなどのポストに投函されるチラシと間違えるということがありました。ご覧になるターゲットが捨ててしまうというご意見が多くありました。

いわゆるタブロイド、市報、都報もそうですし、議会だよりもそうですが、紙質に関して市報のような紙質の方がご覧になるターゲットが多いというような意見もあり、今までご覧になっていただいていない読者の方へご覧いただけるように、手にとっていただきやすいという意図があったことをご理解いただきたいと思います。市内には財団報ぱれっとというものを配っていますが、その他に市外の方に、チケットをお求めいただきやすいようにチケットガイドというものを配布していました。私ども調布市民のための財団でありたいというところも踏まえ、通常月は4ページの仕様なのですが、3の倍数月につきましては6ページの仕様にしていきます。紙面の中の公演情報など

を充実して6ページの仕様にしております。また市外の配布枚数を少し減らし、全体で経費を削減している意図もあります。

○F

紙質についてはわかりました。要するにマンションなんかの広告との差別化を図るために紙の質を変えたということですね。

○渡部施設管理係長

はい。

○F

それは他と差別化を図るためにやむを得ないと思います。印刷はもう少し何とかなりませんかね。非常にみずぼらしい印刷になっているので、少し改善していただければと思います。

それから利用者懇談会の報告を財団報ばれつとに掲載していただけていますが、これは議事が非常に広範囲にわたっている中の一部だけで、私からいわせると毒にも薬にもならないところだけを載せている感じがしないでもないです。財団にとって耳の痛いことをむしろ載せていただきたいです。こういうことが提起され、解決したということを知らせてもらった方がいいのではないかと思います。

○神戸総務課長

ありがとうございます。

○P

今、聞いて関連していると思ったのですが、5月から財団報ばれつとの紙質を変えたということでしたが。もう1つ感じていたのは、各戸配布についてです。以前は新聞への折り込みを行っていたこともありましたが。実は私もそうなのですが、新聞折り込みだと新聞を読む前にまとめて、これはチラシということで、最初に捨てるものとして仕分けてしまうというのがあります。各戸配布にすると捨てる方は違うのではないかなと思います。それぞれ一軒一軒に配っている方式ですね。以前みたいに新聞に折り込むと本当に私もそうでしたが、すぐに捨てるようにしていました。ちょっと見方も変わっているでしょうから検討する際は、配布方法などを専門家に聞き、より効率的な方法で行った方がよいと思います。私たちも、利用者会議ではさまざまな利用者の声を反映させようということで意見を集約しようと思っていますが、そういう意見を反映させ改善に役立てようというところが、だんだんと希薄になってきているように思います。ただ貸館として利用すればいいというところでは、市民がもっと成長しなくてはいけないのかもしれないのですが、そういうところは私たちも積極的に参加してもらうことを訴えていきたいと思っています。

懇談会を意義あるものにするということを、先ほどFさんが8年前からいっていたということで

すが、当初開催した頃には、抽選で何団体か選び、12階を会場に対面式で行っていました。利用団体の中から50～60団体を選んで懇談会に参加してくださいという方式で、利用者の意見を聞いていた時代もありました。そういうところは変わったと思いますが、利用者懇談会を行った成果が目に見えるようにしたいです。概略が財団報ぱれつとに載っていても、そういうことを行っているのかというみる方もいれば、市民の意見を反映しているという方もいます。ですから財団報ぱれつとに載せるのであれば、本当にそういうことが改善に役に立っていますとみえるようにし、普段利用している方が思っていることを伝えてみようと思えるような掲載の仕方を考える必要があるのではないかと思います。

○神戸総務課長

ありがとうございます。

○V

社会教育の出前講座の時に職員の方から、調布はとても子育てしやすいまちだという若い人の受けとめがあり、結構若い子連れの方が引っ越してこられる事も多く、待機児もなかなか対応が大変だというようなお話がありました。

ここも保育室がありますよね。保育室の利用も結構活発であるようにみかけます。そういった若いお母さんたちの保育室利用に対しての声はいかがでしょうか。夜だから利用者懇談会になかなか参加できないですね。けどそういう方々の意見や要望というのどこか窓口で聞くとか、お便りポストのようなものなどはあるのでしょうか。たづくりは複合施設ということで、いろいろな人が来館すると思います。私は本当に若い人や子育て中のお母さんたちの意見や要望をいかにここで反映していただくかを希望しております。自分も子育てした時にいろいろと感じました。意見を受けてくれる窓口などを設けていただきたいです。夜の会合は参加できないので何かそういうこともお考えいただくと、市民のたづくりになるのではないかと思います、いかがでしょうか。

○渡部施設管理係長

7階の保育室に関しましては、以前は他のお部屋の付随施設としてご利用いただいていた。

○V

今度変わりましたよね。

○渡部施設管理係長

単独で、保育室を利用したいという方に利用いただいています。お子様を主体とした利用ということで限らせていただいているのですが、利用数も増加しています。いわゆるママ友達同士の会合なども非常に多いと拝見しております。保育室は7階で財団職員がいるフロアとなりますので、鍵の開け締めはこちらでももちろんさせてもらっておりますし、事務所の前ということもあり、他のお部屋

を利用する方以上にコミュニケーションする機会をもたせてもらっていると思います。その中で、私も同じような年齢ですので、同じお悩みをもっているのではと思うことがあります。利用の中で、このようなものはどうですかというお声がけをさせてもらっている状況ですので、その中でうまく引き出しながらも対応させていただいています。引き続き若い方に利用していただける施設として運営していきたいと思っています。

○V

知り合いでたづくりの保育室を利用しているママ友がいます。利用しやすくなったという声をよく聞くようになりましたが、さらに良くなるように若いお母さんなどの要望の受け皿についてもご検討いただければと思います。

○渡部施設管理係長

はい。

○神戸総務課長

他にご意見等はいかがでしょう。

○F

お礼なのですが、たづくりでやっていただいている市民カレッジは本当にいい先生方をそろえていただいています。これは本当に調布でなければできないことだと思っています。他市の人からも非常にうらやましいといわれています。例えば渡部さんのお世話で立ち上がったサークルですが、市民カレッジでやっていた堀内修先生のオペラの講座から引き続き、その後自主活動で堀内先生とオペラを楽しむ会というものを行っています。参加者は約3分の1が市外からです。それくらいうらやましがられておりますので、市民をサポートしていただいている市民カレッジでは本当にお世話になっております。今後ともどうぞよろしくお願ひしたいと思っています。

本当にいい先生をそろえていただき、ありがたく思っております。

○神戸総務課長

ありがとうございます。

では、定刻より少し前になりますが、私たち財団に対しましてお褒めの言葉、またはお叱りや励ましの言葉として受けとめさせていただきます。冒頭申しあげましたが、今後ともより良い運営に向けて、また一歩ずつ進めてまいりたいと思っております。

○F

1つ、思い出しました。先ほどお話があった市民意見の収集の方法ですが、受付で承ったご意見、あるいはそのほかで承った意見を紙で総務などに全部集まるようにすればいいのではないのでしょうか。要するに書いたものが集まるようにされると非常に漏れがなくなると思います。これは私がま

だに職中にやっていたことですが、いろいろなニーズを感じた際、それを口頭で伝えるだけではなく、特定の場所に記録を全部集まるようにすると、聞いた人だけではなく伝達が非常にスムーズになり、かつ漏れもなくなりますのでご検討いただきたいと思います。

○渡部施設管理係長

日々のアンケート用紙やスタッフにお声がけいただき、承った要望、苦情等につきましては一度私どもの係に全て集まってきます。例えば市民カレッジであれば担当課であるたづくり事業課に伝え、その結果を私の方で全てまとめます。まとめたものは情報共有ということで上司に回覧し、さらに月ごとにまとめてものを、調布市に報告しています。

○F

市民カレッジのことだけではなく、例えばおばあさんが地下に自転車を置けといわれたというようなことを前回申しあげました。そのような案件は、全部受付の方がお聞きになっていると思うので、その情報がスムーズに回るようにしていただければ、私がここでもう一度発言しなければならないようなことはなかったはずです。

○渡部施設管理係長

はい、了解しました。

○仁藤文化振興課長

では、補足を少し調布市からさせていただきます。先ほどの市民のご意見の集約については、アンケートや市長へのお手紙、メールなどでも市の方にご意見をいただく場合もあります。それに対してはなるべく早い対応で回答させていただいております。ご意見は財団に対してのものもありますし、市にいただくご意見もあります。そういったご意見をいただいた際は市と財団とで双方向の対応をしております。また毎月1か月ごとに、調整会議という会議を設け、お互いに情報交換をしていく場面がありますので、そのときにも改めて表として市の方にもらうようにしています。皆さんのご意見は市にも届いております。

○神戸総務課長

それでは、お時間になりました。本日貴重なご意見を頂戴いたしました。今後、たづくりやグリーンホールの運営に活かしてまいりたいと思います。何かお気づきの点があれば7階の事務室、またお電話でも結構ですので、お気軽にお声がけいただければと思います。

なお、次回の利用者懇談会につきましては来年6月ごろを予定しております。また今後、日程を調整いたしましてホームページや財団報ぱれっと等でお知らせをしていきます。

それでは、これもちまして平成25年度第2回利用者懇談会を閉会といたします。本日はどうもありがとうございました。

——了——